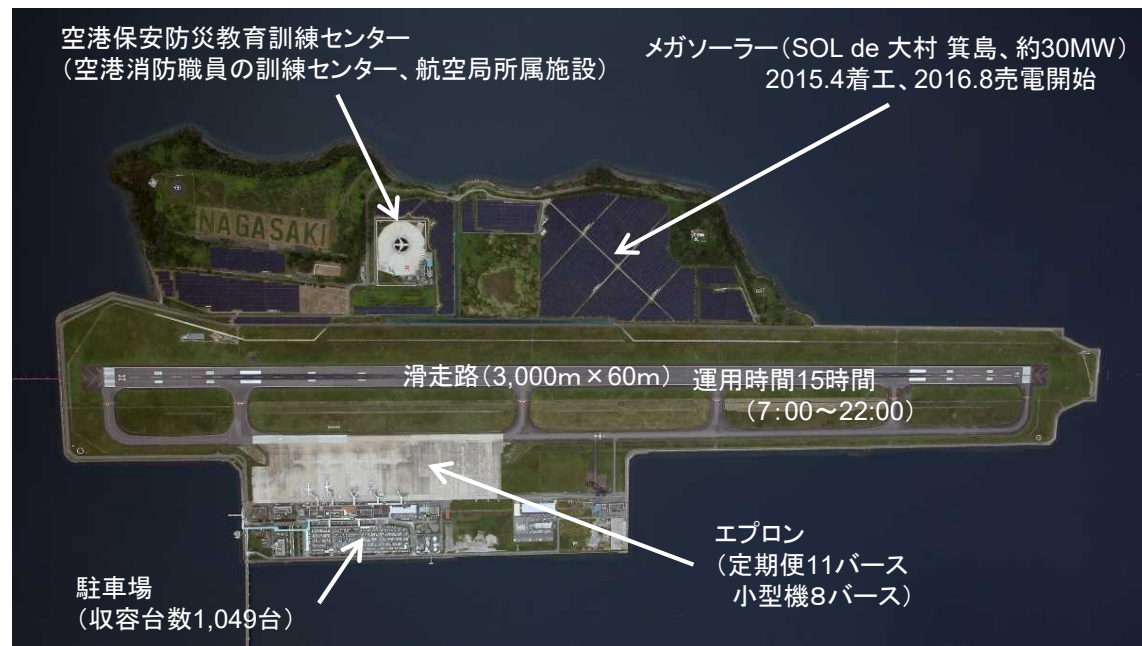


【長崎空港】概要

- 長崎空港は世界で初めての本格的海上空港として、大村湾に浮かぶ小島(箕島)を造成し、海面の一部を埋め立てて建設され、1975年5月に供用開始。1979年には国際空港機能としての、CIQ(税関、出入国、検疫)指定空港となり、同年9月には中国定期便(上海、北京)が就航。
- 現在は国内三大都市圏や沖縄のほか、県内の壱岐、対馬、五島を結ぶ離島便も就航しており、主にハウステンボスや長崎市内への観光客やビジネス客で賑わっている。



【長崎空港】各施設の機能



【撮影：2020年3月】

区 分		概 況
種 別		拠点空港(国管理空港)
設 置 管 理 者		国土交通大臣
空 港 の 位 置		長崎県大村市
空 港 面 積		1,735,539m ²
着 陸 帯		3,120m × 300m
滑 走 路		3,000m × 60m
誘 導 路		3,250m
エ プ ロ ン		約137,000m ² 定期便： 11バース 小型機： 8バース